

公共交通との連携による 自転車の利用促進 ーベストミックスの実現ー



令和7年1月27日(月)

国土交通省 道路局
自転車活用推進本部事務局





1. 公共交通と自転車の連携 → ベストミックスの実現
2. 国や自治体の自転車施策におけるサイクルトレインの位置づけ
3. サイクルツーリズムの動向
4. その他

公共交通と自転車の連携



- ✓ 自転車、公共交通（鉄道・バス等）は、いずれも
 - ・日常（通勤・通学、買い物 等）
 - ・非日常（レクリエーション、観光 等）を支える移動手段の一つ
- ✓ 自転車も公共交通も、単体では移動範囲に限られるが両者を組み合わせることで、
 - ・移動手段の選択肢の拡大
 - ・行動範囲の拡大など移動の利便性の向上が図られ、ひいては、**自転車・公共交通の利用促進**につながることを期待
- ✓ サイクルトレインは、自転車と鉄道の連携の一つの形態



サイクルトレイン



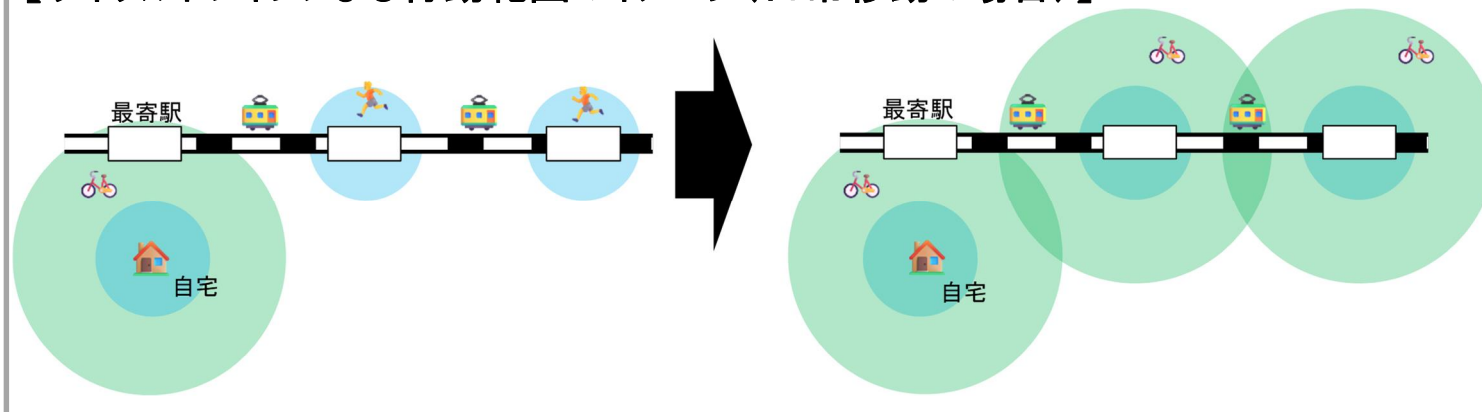
サイクル&バスライド

（出典：宇都宮市HP）



駅前広場に設置されたシェアサイクルポート

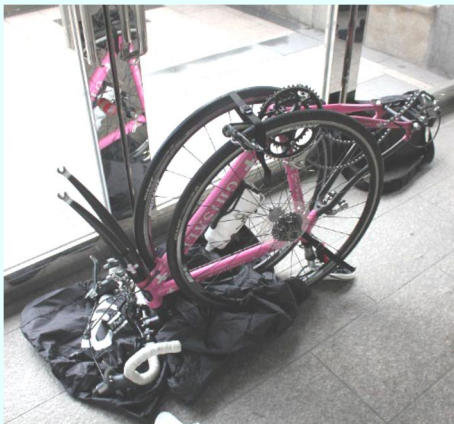
【サイクルトレインによる行動範囲のイメージ（日常移動の場合）】





＜利用者（自転車持込者）にとってのメリット＞

- ✓ 自転車の解体など輸行の手間がなくなる
- ✓ 解体が困難な（輸行できない）シティサイクル、ママチャリ、E-bikeなども電車で持ち込んで遠くまで移動できる
- ✓ 目的地近くの鉄道駅で降りた後も、目的地までの二次交通として自転車に乗って移動できる
- ✓ 鉄道駅から離れた場所にあって歩いて行くには遠いショッピングセンター等の目的地にアクセスしやすくなる



輸行自転車の持ち込み

＜事業者にとってのメリット＞

- ✓ 公共交通と自転車の連携による輸送量拡大、利用圏域拡大の効果
- ✓ サイクルトレインが一般化した場合、駅構内、駅前、駅周辺等において、駐輪場や輸行のための自転車の組立・解体スペースの提供の必要性が低減



（愛媛県 伊予鉄道）



（東京都 西武鉄道多摩川線）

サイクルトレインの日常的な利用

《国》自転車活用推進計画（令和3年5月28日閣議決定）



【目標1】都市環境



自転車通行空間
の整備推進



シェアサイクル
の普及促進

【目標3】観光



サイクルツーリズムの推進
（ナショナルサイクルルート）



【目標2】健康



自転車通勤の導入促進

「自転車通勤
推進企業」
宣言プロジェクト



優良企業



宣言企業

【目標4】安全・安心



交通安全教育の推進



啓発チラシ



目標1 自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成

コンパクトなまちづくりを推進するとともに、モビリティの多様化も見据えつつ、**それぞれの地域における公共交通や自転車を活用したベストミックスの実現を目指す**。これにより、交通における自動車への依存の程度を低減させ、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた交通分野の脱炭素化や都市部を中心とした道路交通の円滑化等、良好な都市環境の形成を図る。

このため、自転車は公共交通とともに公共性を有するモビリティであることを踏まえ、それにふさわしい安全で快適な自転車利用環境を計画的かつ継続的に創出するとともに**公共交通機関との連携を強化し、自転車利用を促進する**。……（略）

（実施すべき施策）

1～3.（略）

4. 公共的な交通である**シェアサイクルと公共交通機関との接続強化**や、サイクルポートの設置促進等により、シェアサイクルの普及を促進する。

5. **地方公共団体と鉄道事業者の連携を強化すること等**により、地域の駐輪ニーズに応じた駐輪場の整備を推進する。

6～7.（略）

（措置）

（略）

目標3 サイクルツーリズムの推進による観光立国の実現

自転車に乗ることそのものを楽しむ、あるいは自転車で地域を巡り、沿線の魅力を楽しむ体験型・交流型旅行の促進や、市民参加型サイクリングイベント、世界のトップアスリートが参加する自転車競技の誘致・開催等を通じた持続可能な観光地域づくりを推進し、自転車を活用した地域の活性化を図る。……（略）

（実施すべき施策）

12.（略）

13. 官民が連携した走行環境の整備や、**サイクルトレインの拡大等によるサイクリストの受入環境の整備等**により、ナショナルサイクルルートをはじめとする世界に誇るサイクリング環境を創出するとともに、国内外へのPR等を行い、サイクルツーリズムを推進する。

（措置）

③ 鉄道事業者やバス事業者が実施する**サイクルトレイン、サイクルバスの取組事例、方法等**を集約し**優良なものを選定した上で、ベストプラクティスの共有を行うとともに、自社路線におけるサイクルトレイン、サイクルバスの実施について検討を促す**。

【国の推進計画の目標達成に向けて検討が必要な施策】



➤ 官民が連携した走行環境の整備や、サイクルトレインの拡大等によるサイクリストの受け入れ環境の整備等により、世界に誇るサイクリング環境を創出し、サイクルツーリズムを推進する。

- ・鉄道事業者やバス事業者に対して、サイクルトレインやサイクルバスの導入を要請することにより、サイクリストの受け入れ環境の充実を図る。



・関係者に対して協力を要請することにより、道の駅のサイクリング拠点化や、鉄道駅や空港における受入サービスの充実を図る。また、訪日外国人を考慮した受入サービスについてもあわせて検討する。

地域固有の文化、自然その他の特性（温泉の活用によるウェルネスツーリズムやヘルスツーリズムなど）とサイクルツーリズムを融合させた体験型コンテンツの実施について検討する。



松山空港ターミナルビル 1 階に、お通路さん・サイクリストをおもてなしする「休憩コーナー」「着替えコーナー」「自転車組立スペース」を設置
【出典：松山空港 HP】

第十条 都道府県は、自転車活用推進計画を勘案して、当該都道府県の区域の実情に応じた自転車の活用の推進に関する施策を定めた計画（次項及び次条第一項において「都道府県自転車活用推進計画」という。）を定めるよう努めなければならない。

2 (略)

第十一条 **市町村(特別区を含む。次項において同じ。)**は、自転車活用推進計画(都道府県自転車活用推進計画が定められているときは、自転車活用推進計画及び都道府県自転車活用推進計画)を勘案して、当該市町村の区域の実情に応じた自転車の活用の推進に関する施策を定めた計画(次項において「**市町村自転車活用推進計画**」という。)を定めるよう努めなければならない。

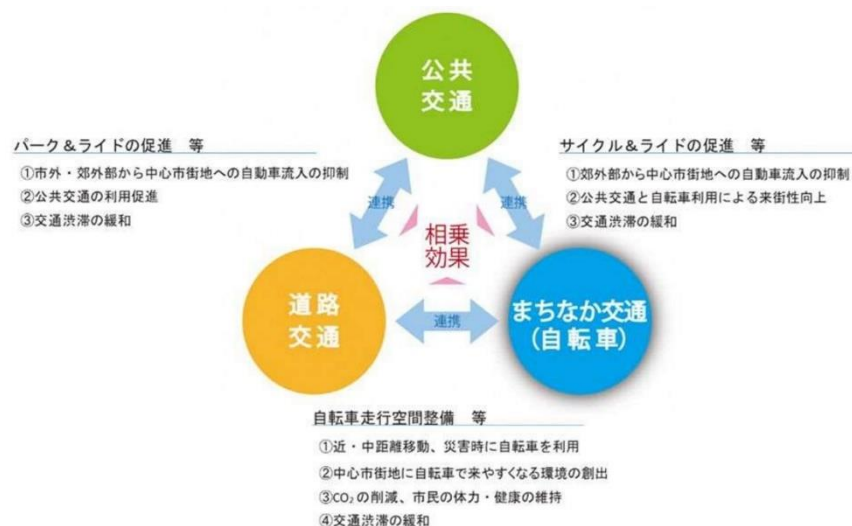
2 (略)

《自治体》地方版自転車活用推進計画での記載例(熊本市)



【参考】熊本都市圏交通の将来像 『都市交通体系の最適化“ベストミックス”』

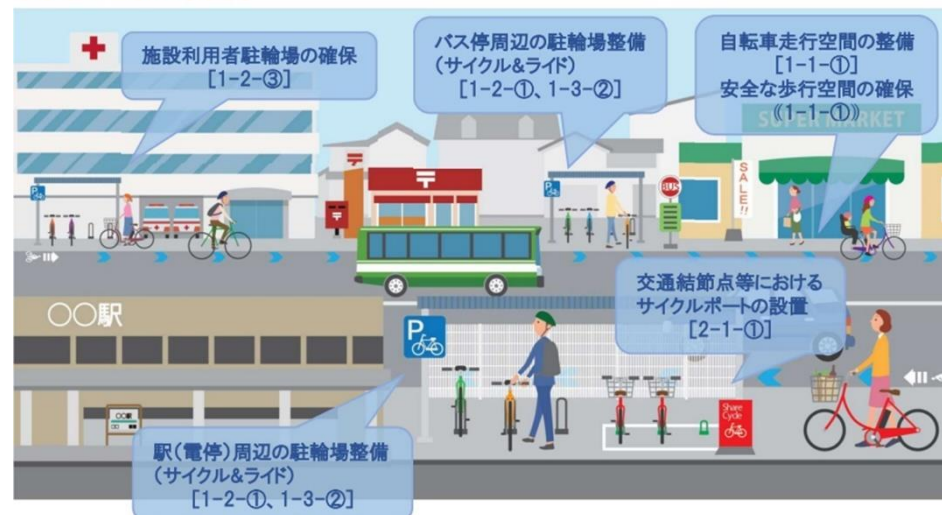
熊本都市圏交通の将来像として掲げる『都市交通体系の最適化“ベストミックス”』を構築するうえでも、本計画では、自転車が重要な役割を果たせるように、**地域に合った自転車利用環境を実現し、多様な公共交通と連携**することで自転車の活用を促進します。



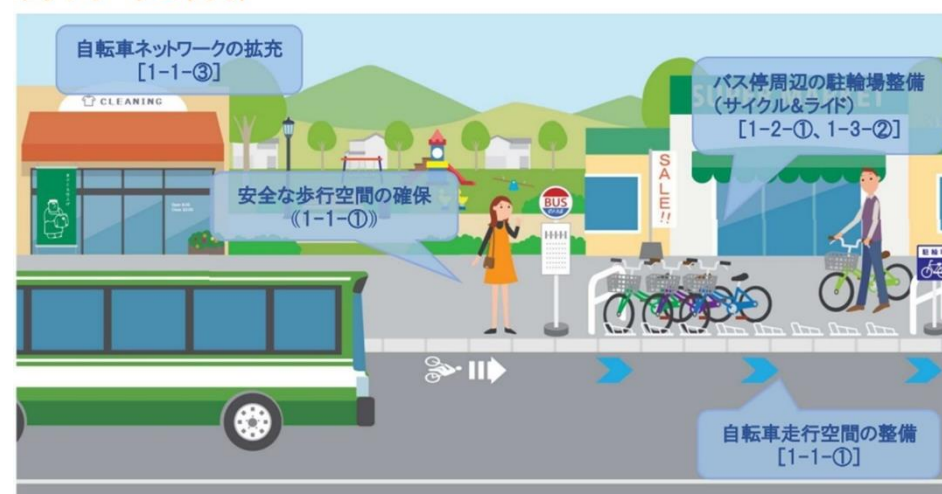
取組⑦	サイクルトレイン等の活用・拡大 [2-3-⑦]	
位置付け	前期	後期(継続)
	短期	
熊本電鉄では、サイクルトレイン※を実施しており、車内に自転車を 持ち込むことが可能なため、自宅から駅まで、駅から目的地へ自転 車での移動が可能となります。このようなサイクルトレインの活用・利 用促進に向けた広報・啓発を行い、他事業者に対しても協力を呼び かけます。 ※月曜から土曜の9:00～15:30、日祝は終日利用可能		
		
写真 サイクルトレイン (熊本電鉄)		

施策の実施による将来イメージ(地域拠点)

ネットワークエリア内



ネットワークエリア外

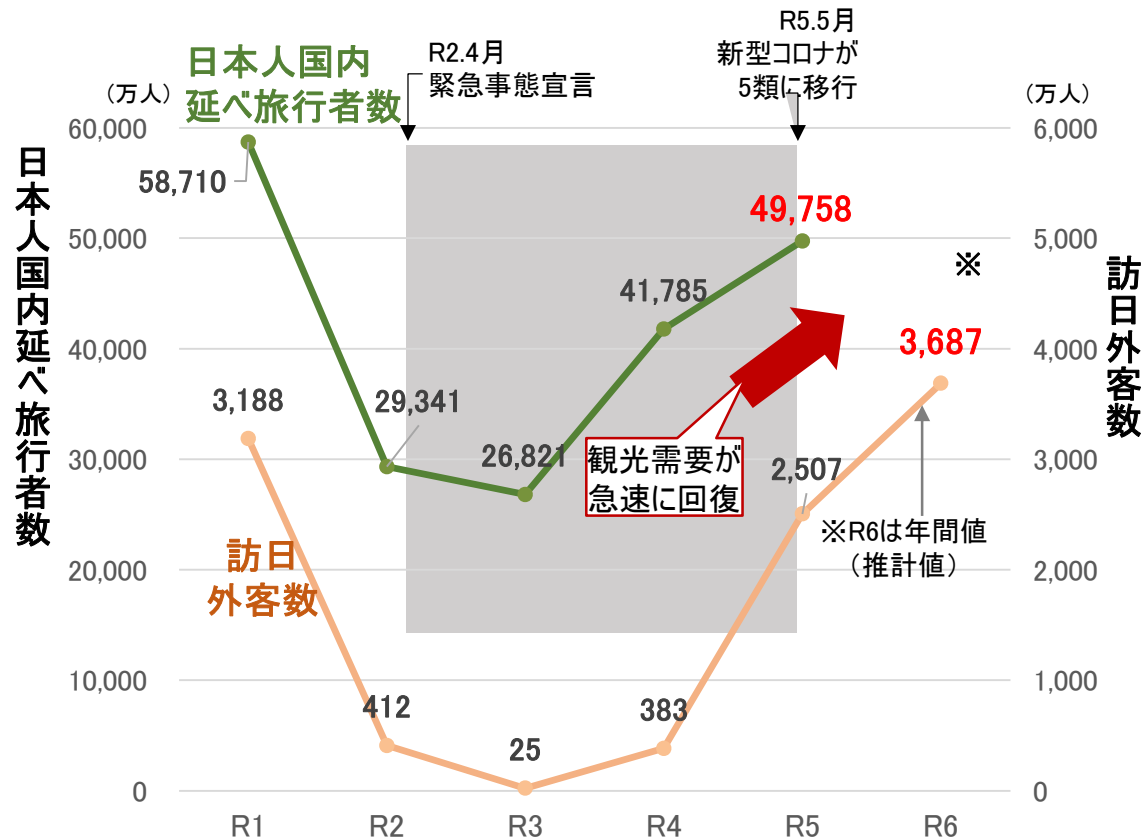


出典:「熊本市自転車 3“ばい”プラン～熊本市自転車活用推進計画～」(R3.3 熊本市)

サイクルツーリズムの市場動向

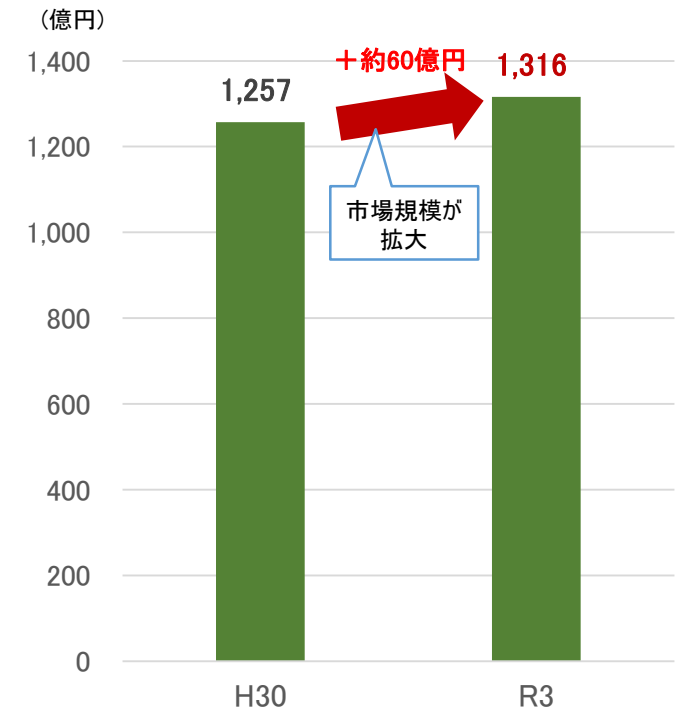


(日本人国内旅行とインバウンドの動向)



出典：日本人国内延べ旅行者数：観光庁「旅行・観光消費動向調査」、
訪日外客数：JNTO「訪日外客統計」より作成

(国内サイクルツーリズムの市場規模※)



※サイクルツーリズムの市場規模：日本国民による国内のサイクル
ツーリズムに対する消費金額の総額

出典：一般社団法人ルート・スポーツ・ジャパン
「サイクリスト国勢調査」より作成

地方部をはじめ全国的なサイクルツーリズムの進展



羊蹄ニセコエリア
サイクルルート



(出典: TABIRIN)

各地で官民連携による
サイクルルート整備が展開

「サバ街道」
サイクリングの道路整備提言



出典: 一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会

リニューアルの際、サイクル
トレイン「みのくろ」が運行

山梨県市川三郷町
「市川公園」でのMTBコース造成



令和6年10月リニューアルオープン

出典: Yamanashi MTB 山守人

サイクルトレインの運行
(平成筑豊鉄道(福岡県))



令和6年3月運行開始

高知県のいの町における
サイクルバスの運行



令和6年10月運行開始

(出典: いの町観光協会)

宮崎・日南・串間海岸
サイクリングルート



○ ナショナルサイクルルート
およびモデルルート

「サイクルトレイン・サイクルバス導入の手引き」(令和5年5月)



- 我が国においても、鉄道事業者やバス事業者が、沿線地域とも連携しながらサイクルトレインやサイクルバスの導入や拡大を検討できるよう、国内外の参考事例や留意点をまとめ、「サイクルトレイン・サイクルバス導入の手引き」(2023年5月)を作成。

1. サイクルトレイン・サイクルバスの概説

1.1. サイクルトレイン・サイクルバスとは

自転車を解体せず、そのまま車内又は車外サイクルラックに搭載し、輸送する鉄道・バス



JR西日本きのくに線(和歌山県)



ウイング神姫(兵庫県)

1.2. 導入目的と利用層

サイクリストの観光行動や通勤・通学、買い物といった生活行動への導入事例



一畑電車(島根県)



宗谷バス(北海道)



上毛電気鉄道(群馬県)

1.3. 法令・計画における位置付け

法令・計画に位置付け、自転車施策や公共交通施策と一体的に取り組む事例

- ・自転車活用推進法
- ・自転車活用推進計画
- ・交通政策基本法
- ・交通政策基本計画
- ・地域公共交通計画

1.4. 導入・運用の留意点

導入にあたる安全対策(車内での固定、駅内の利用環境)、案内誘導の好事例



関鉄バス(茨城県)



JR西日本きのくに線(和歌山県)



弘南鉄道(青森県)



台湾鉄道(台湾)



西日本鉄道天神大牟田線(福岡県)

2. 国内における事例カルテ

国内における事例をカルテ化

サイクルトレイン: 西日本鉄道天神大牟田線、弘南鉄道大鰐線弘南線、JR西日本きのくに線、一畑電車北松江線大社線、上毛電気鉄道
サイクルバス : 宗谷バス、関鉄バス、ウイング神姫

先進的なサイクリング環境整備事業(観光振興事業費補助金)



- 先進的なサイクリング環境整備事業(観光振興事業費補助金)では、道の駅や鉄道駅、サイクルステーション等におけるサイクリストの受入環境整備等を支援。

事業目的・背景

- サイクルツーリズムは、環境負荷が少ない形で地域における自然や文化の理解増進と消費拡大が期待でき、全国各地でサイクルートの整備を展開中。
- しかし、ナショナルサイクルートをはじめとするサイクルートにおいても、訪日外国人に対応したサイクリング環境は、必ずしも十分ではないため、質の高い整備が必要。

補助対象

- 訪日外国人旅行者に対応した誰もが迷わず安全・快適に走行できる環境整備や自転車のメンテナンスサービスの提供等サイクリストの受入環境整備、ガイドツアーの質の向上等滞在コンテンツの磨き上げ等による魅力づくり等を支援する。

【補助対象経費】

- ①多言語による案内標識の整備に要する経費
- ②受入環境の整備に要する経費
- ③情報発信・プロモーションに要する経費

事業スキーム

- ・事業形態:直接補助事業(補助率 1/2)
- ・補助対象:地方公共団体・協議会

事業イメージ

①多言語による案内標識の整備



多言語による案内標識

②受入環境の整備

- ・手荷物用ロッカー、シャワー、更衣室の整備
- ・トイレの洋式化
- ・無料公衆無線LAN環境



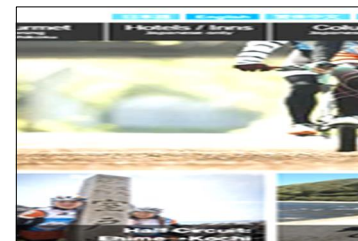
サイクリストの受入環境整備

- ・レンタサイクル導入に伴う自転車保管施設や受付施設
- ・サイクルラックの整備
- ・貸出用工具の整備
- ・自転車組立スペースや休憩スペースの設置



サイクルラック 貸出用工具

③情報発信・プロモーション



多言語のホームページ



中国語 韓国語 日本語
多言語のサイクリングマップ



- ✓ サイクルトレインなど公共交通と自転車が連携することにより様々な効果
 - ・自転車利用者： 移動の選択肢・範囲が拡大 → 移動機会の拡大
 - ・交通事業者： 利用者の増 → 顧客・収益の拡大
 - ・沿線地域： 地域の足(二次交通)の確保、地域経済の活性化
- ✓ サイクルトレインの利用条件・機会が拡大することで利便性が高まり、一層の効果が期待(←自転車利用者等、ユーザーの目線)

- ✓ 公共交通と自転車との連携による「ベストミックス」の実現が重要な課題
- ✓ サイクルトレインに対する自治体のニーズ・期待はきわめて高い(特にツーリズム、地方創生の観点)

- ✓ サイクルトレインも交通まちづくりの一環として、自治体・住民と鉄道事業者の連携が不可欠
- ✓ 行政計画にも反映した上で、地域の関係者が一丸となって取り組むことが重要(地方版自転車活用推進計画、都市交通戦略、地域公共交通計画 等)